

Panasonic®

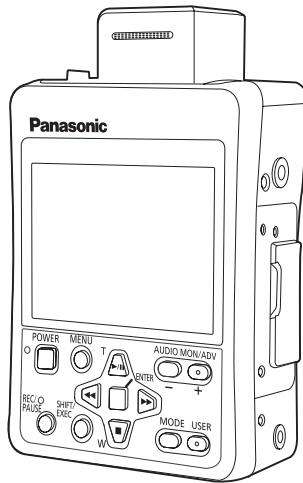
■本機は AVCCAM 3 年間無償修理特約の対象商品です。詳しくは 32 ページをご覧ください。

取扱説明書 簡易版

メモリーカードポータブルレコーダー

品番 AG-HMR10

AVCCAM



AVCHD™

DD DOLBY
DIGITAL
STEREO CREATOR

HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

SD
HC

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

**簡易版
取扱説明書**

本書は、取扱説明書より一部の内容を抜粋したものです。詳細は、同梱の CD-ROM に収録されている取扱説明書 (PDF) を参照してください。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(8～11ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

S0809S1129 -M [D]
Printed in Japan

JAPANESE

VQT2H53-1

はじめに

各部の名称

準備

表示

メニュー

ご参考

- SDHC ロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- miniSD/microSD ロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Microsoft®、Windows®およびWindows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- IBM およびPC/AT は米国International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Intel®はIntel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh は、米国Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC ビデオを再生する場合
 詳細については米国法人MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品でSD メモリカードに記録して、エンドユーザーに営利目的でそのカードを配布する場合には、別途MPEG-LA とのライセンス契約が必要です。ここで言うエンドユーザーとは、個人使用目的でコンテンツを扱う人や団体を指しています。

本書内のイラストについて

- レコーダー本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを以下のように示しています。
 - (⇒ 00ページ)：本書の参照ページを示しています。
 - (⇒ PDF 00ページ)：取扱説明書(PDF)の参照ページを示しています。

用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、どちらも「SDメモリーカード」と記載しています。
- 1 回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。
- 別売品のコンパクトカメラヘッド(AG-HCK10G)は、「カメラヘッド」と記載しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。

この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本機の使いかた

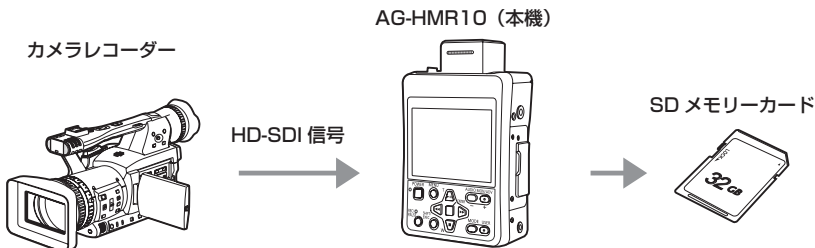
本機は、バッテリー駆動ができるコンパクトな筐体に、SD メモリーカードスロットと 3.5 型の液晶モニター、SDI/HDMI/USB2.0/CAMERA（オプションカメラヘッド AG-HCK10G 接続用）などの多彩な入出力端子を備えたポータブル AVCCAM 記録再生機です。AVCCAM カメラレコーダーで撮影したコンテンツを手軽に再生することができるほか、SD メモリーカードへのバックアップ収録やファイル管理が可能で、屋外フィールドでの収録もサポートします。

SD メモリーカードに記録する

1 HD-SDI 入力記録（→ PDF 35 ページ）

HD-SDI 出力を備えた外部機器（HD カメラレコーダー、HD 情報カメラシステムなど）と接続して、SD メモリーカードに記録することができます。

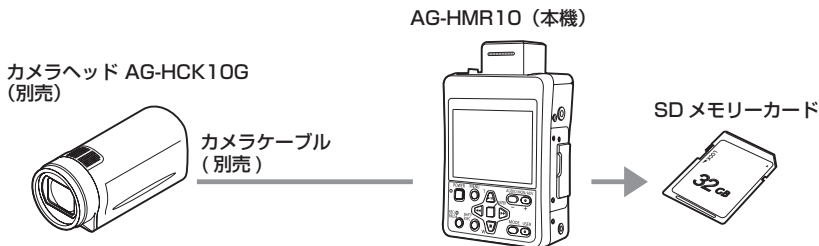
また、一部のカメラレコーダーから本機の記録開始操作および停止操作ができます。（SDI 入力選択時）（対応機器については取扱説明書（PDF）の 89 ページを参照してください）



2 カメラで撮影（→ PDF 36 ページ）

カメラヘッド AG-HCK10G（別売）と接続して、SD メモリーカードに記録することができます。

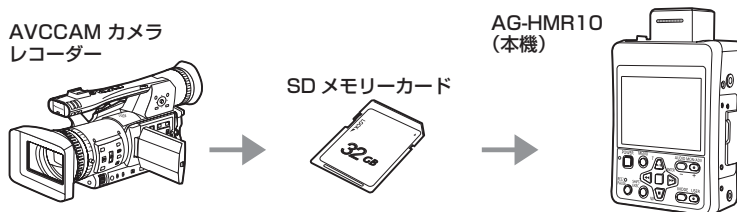
- カメラヘッドのズーム、フォーカス、アイリスなどのカメラ機能を本機でマニュアル操作することができます。



SD メモリーカードのコンテンツを再生する

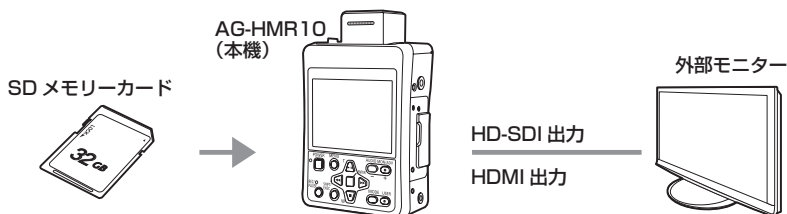
3 本機の液晶モニターで再生 (→ PDF 59 ページ)

AVCCAM カメラレコーダーで撮影し、SD メモリーカードに記録したコンテンツ (映像 / 音声) をその場で再生することができます。



4 外部モニターに出力して再生 (→ PDF 70 ページ)

SD メモリーカード内のコンテンツ (映像 / 音声) を外部モニターに出力して再生できます。

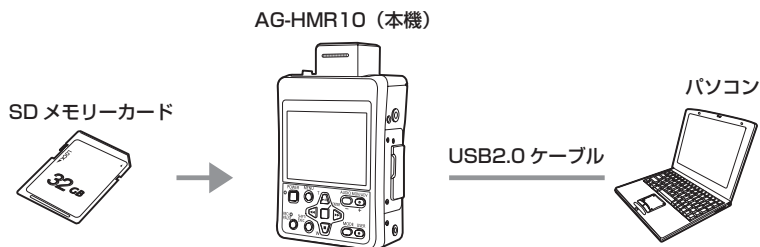


• AVCCAMフォーマットで記録再生されるコンテンツのHD-SDI 出力は、モニター用途にご利用ください。

SD メモリーカードのコンテンツを編集する

5 パソコンと接続して編集 (→ PDF 72 ページ)

パソコンと USB 接続して、SD メモリーカード内のコンテンツをパソコンでコピー、編集することができます。



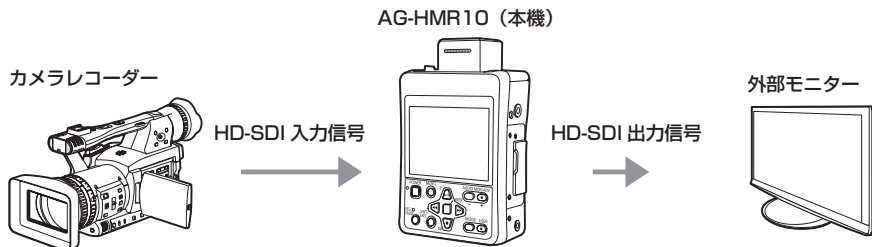
HD-SDI 出力をする

6 SDI モードのシステム構成例

■本機で記録したフォーマットのデータを出力する場合

設定メニュー [AV OUT SETUP] → [SDI EE SEL] → [NORMAL] を選択してください。

- 設定メニューの基本操作(➡ 20ページ)

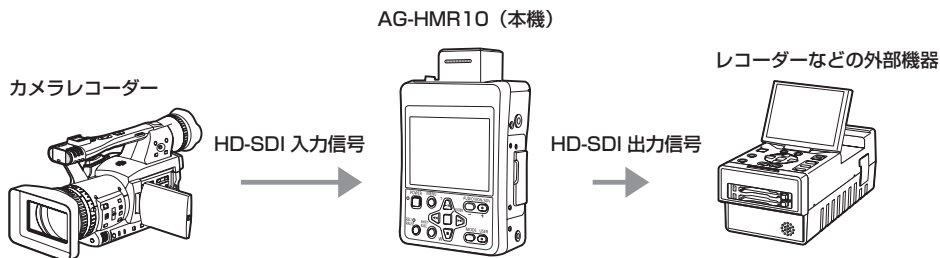


- OSDや、メニュー画面などの情報が出力信号に付加できます。
(設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [OUTPUT OSD] → [ON]を選択した場合)
- S-VITC・UMID情報は出力しません。
- 外部モニターでの確認時にご使用ください。

■入力されたデータをそのまま出力する場合

設定メニュー [AV OUT SETUP] → [SDI EE SEL] → [THROUGH] を選択してください。

- 設定メニューの基本操作(➡ 20ページ)



- HD-SDI入力信号がそのまま出力できます。
- 出力先の機器で記録や編集が必要な場合にご使用ください。
- PBモード時は自動で[NORMAL]に切り替わります。

7 CAM モードのシステム構成例



- フレームシーケンス情報は出力されません。
- S-VITC・UMID情報は出力しません。
- 外部モニターでの確認時にご使用ください。

もくじ

| | |
|------------------------|----|
| 本機の使いかた..... | 3 |
| 安全上のご注意 必ずお守りください | 8 |
| ご使用の前に | 12 |

はじめに

| | |
|-----------|----|
| 付属品 | 13 |
| 別売品 | 13 |

各部の名称

| | |
|-----------------------|----|
| 各部の名称 | 14 |
| 操作部 / 液晶部 / 機構部 | 14 |
| 端子部 / 機構部 | 15 |

準備

| | |
|-------------------------|----|
| 電源の準備 | 16 |
| 充電する | 16 |
| バッテリーを使う | 17 |
| ACアダプターを使う | 18 |
| 電源の入れかた・切りかた | 18 |
| タリーランプについて | 19 |
| SDメモリーカードアクセスランプについて .. | 19 |
| 設定メニューの基本操作 | 20 |
| 設定メニューの操作方法 | 20 |
| 設定メニューを初期化する | 21 |
| 日時の設定 / 内蔵電池の充電 / | |
| 液晶モニターの調整 | 22 |
| 日時を設定する | 22 |
| 内蔵電池の充電 | 23 |
| 液晶モニターを調整する | 23 |

表示

| | |
|--------------|----|
| 画面の表示 | 24 |
| 通常の表示 | 24 |
| 主な警告表示 | 28 |

メニュー

| | |
|-------------------------|----|
| 設定メニューの構成 | 30 |
| 記録 (REC) モードのメニュー | 30 |
| 再生 (PB) モードのメニュー | 31 |

ご参考

| | |
|-------------------|----|
| 保証とアフターサービス | |
| (よくお読みください) | 32 |
| 修理を依頼される時 | 32 |
| 定格 | 33 |

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



危険

バッテリーは…



- 指定以外のものを使わない
- 端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
- 分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
- 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）

⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

⇒ 不要（寿命）になったバッテリーについては取扱説明書（PDF）の 18 ページをご参照ください。

⇒ 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。



- 本機専用の AC アダプターで充電する
- （液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）

AC アダプターは…



- 本機専用のバッテリー以外の充電には使わない
- （液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）

警告

ポータブルレコーダーや付属品は…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



- 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く
【内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき
(そのまま使うと、火災や感電の原因になります。)
⇒ ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
⇒ バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。



- 乗り物を運転しながら使わない
(事故の誘発につながります。)
⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。
- 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない
(本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど*の原因になります。)
* 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



接触禁止

- 雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない
(落雷すると、感電につながります。)



分解禁止

- 分解や改造をしない
(火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)
⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



- 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする
(火災や感電の原因になります。)
⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。
⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花びんなどの容器を置かないでください。

(次ページへつづく)

警告 (つづき)

AC アダプターは…



- 電源コード・プラグを破損するようなことはしない
〔 傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど 〕
- 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない
- たこ足配線などコンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100V ~ 240V 以外での使用はしない

(感電や火災の原因になります。)

⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない
(感電や火災の原因になります。)



- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。)
⇒ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

- 電源プラグのほこり等は定期的にとる
(プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。)
⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

メモリーカードは・・・



- 乳幼児の手に届くところに置かない
(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)
⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

注意

ポータブルレコーダーは…



- **ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない**
(ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)

ポータブルレコーダーや付属品は…



- **本機の放熱を妨げない**
[押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、]
[じゅうたんや布団の上に置かない
(内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
- **直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない**
(特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60℃以上) になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)
- **油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない**
(火災や感電の原因になります。)
- **本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない**
(落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。)
(重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)



- **病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う**
(本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。)
- **コードを引き回す場合、足など引っ掛けないよう固定したりカバーなどを**
する
(足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災の原因にもなります。)



電源プラグ
を抜く

- **長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く**
(火災や感電の原因になります。)

パナソニック純正バッテリー（充電式電池）ご使用のすすめ

平素よりパナソニック製品をご愛用頂きまして誠にありがとうございます。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部海外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をあらためておすすめいたします。

なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用の前に

ためし撮りをしましょう

- 大切な撮影（結婚式など）の場合は、必ず事前にためし撮りし、正常に撮影・録音されていることを確認してください。

必ず日時、タイムゾーンの確認・設定を行きましょう

- 記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。ご使用の前に日時、タイムゾーンの確認・設定を行ってください。（➔ 22ページ）

記録内容の補償はできません

- 本機およびSD/SDHC メモリーカードの使用上、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

- あなたが記録した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機で使えるバッテリーについて（2009年10月現在）

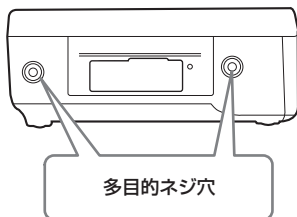
- 本機で使用できるパナソニック製バッテリーはVW-VBG260です。
VW-VBG260は、バッテリーと本機との間で、安全に使用できるかどうかを確認する機能があるバッテリーです。

本機で使えるメディアについて

- SD/SDHC メモリーカードが使用できます。詳しくは取扱説明書(PDF)の15ページをご覧ください。

多目的ネジ穴について


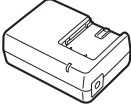
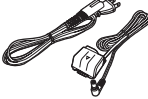
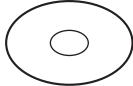
- 本機の側面にある4箇所のネジ穴には、M3（3 mm径）タイプの長さ8 mmのネジが使用できます。ネジを使用する場合は、無理に締め付けしないで下さい。また、M3（3mm径）タイプの長さ8 mm以外のネジを使用すると、本機が破損する場合があります。



多目的ネジ穴は反対の側面にも2つあります。

その他の使用上の注意については取扱説明書（PDF）の17ページをご覧ください。

付属品

| バッテリー* | AC アダプター | AC コード / DC コード | CD-ROM |
|---|---|---|---|
|  |  |  |  |

はじめに

* バッテリーの品番につきましては、下記の「別売品」を参照してください。

- 本機と同梱している、バッテリーおよび、ACアダプターには、「ビデオカメラ用」と表示されていますが、問題なくご使用いただけます。
- 付属品の追加ご購入は販売店にご相談ください。
- AC コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

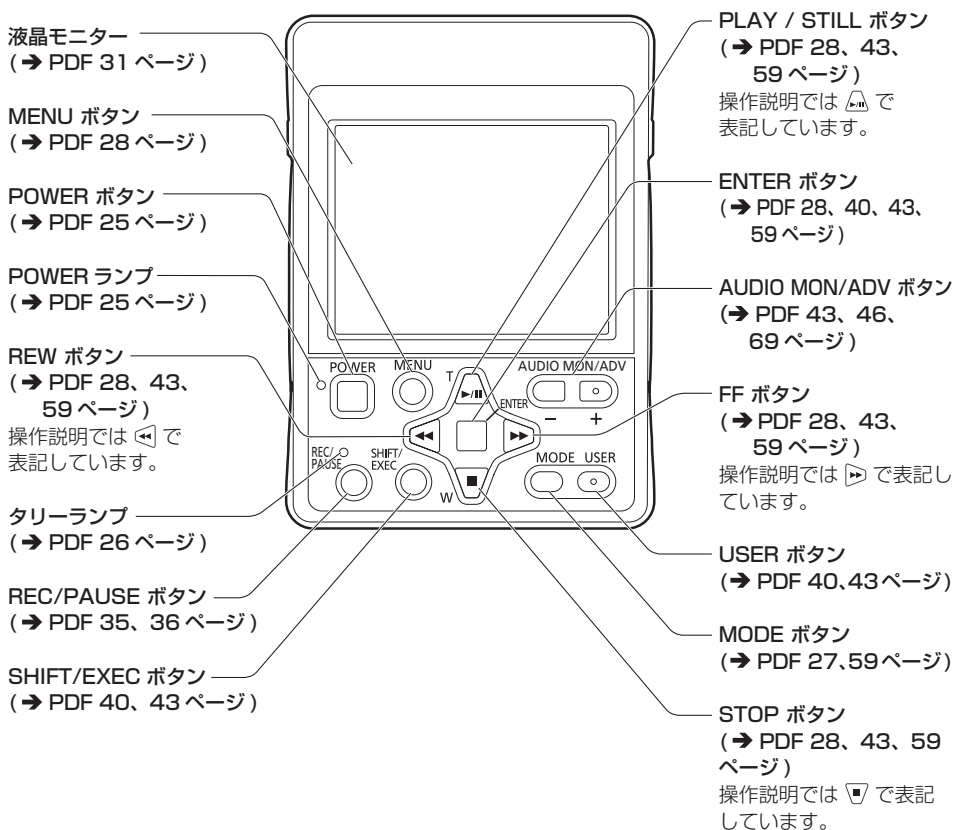
別売品

- **バッテリー**
VW-VBG260 (7.2 V、2640/2500 (typ./min.) mAh : 付属のバッテリーと同等品)
- **コンパクトカメラヘッド**
AG-HCK10G (AG-HMR10と接続するには別売のカメラヘッドオプションケーブルが必要です)
 - 撮像素子**
1/4.1 型 MOS 型固体撮像素子 ×3
 - レンズ**
光学式手ぶれ補正レンズ、電動 12 倍ズーム
F1.8 ~ 2.8 (f=4.0 mm ~ 48 mm)
(35 mm 換算 : 40.8 mm ~ 490 mm)
 - フィルター径**
43 mm
 - 色分解光学系**
プリズム方式
- **カメラヘッドオプションケーブル**
AG-C20003G (3 m)
AG-C20020G (20 m)

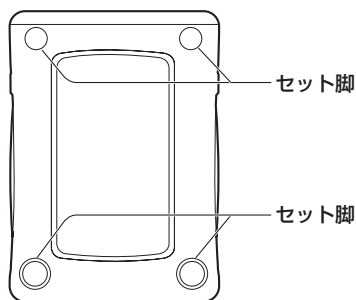
各部の名称

操作部 / 液晶部 / 機構部

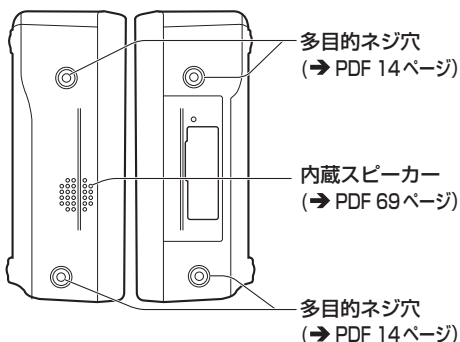
■前面

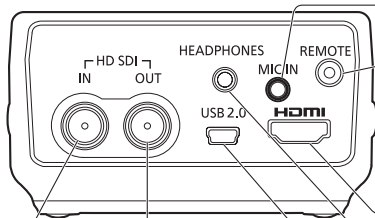
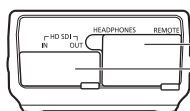
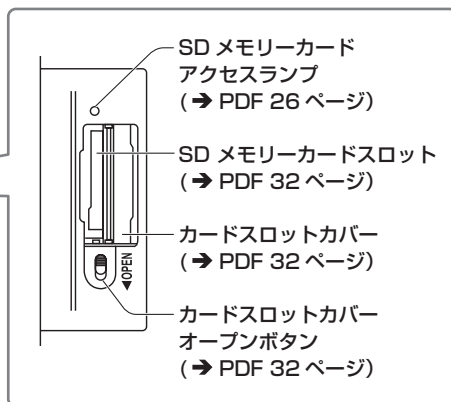
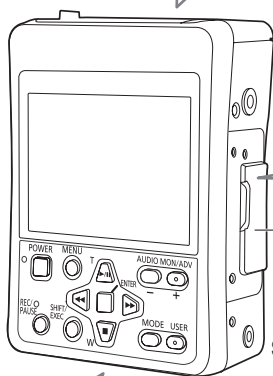
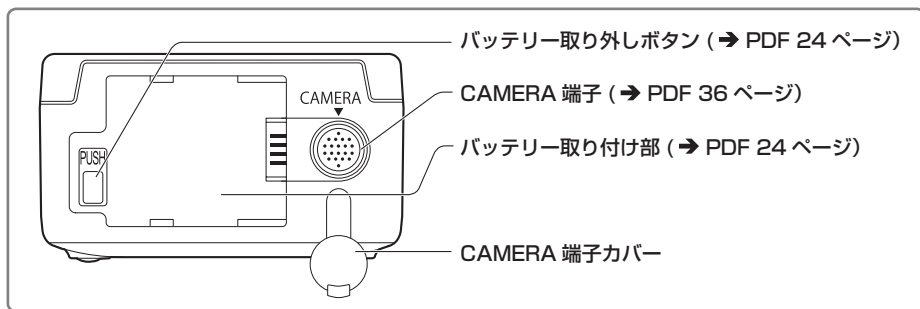


■後面



■側面





マイク端子 (→ PDF 46、70 ページ)

REMOTE ジャック
 リモコン (別売) を接続して、ズーム操作および
 記録スタート / ストップ操作をリモート制御でき
 ます。

HDMI 出力端子 (→ PDF 70 ページ)

ヘッドホンジャック (3.5 mm ミニジャック)
 (→ PDF 69、70 ページ)

USB 端子 (→ PDF 71、72 ページ)

・HD-SDI IN 端子、HD-SDI OUT 端子に接続するケーブルは、5C-FB 相当のダブルシールドの
 ものを使用してください。

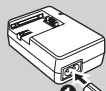
電源の準備

充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。
また、予備のバッテリーを1本用意されることをお勧めします。

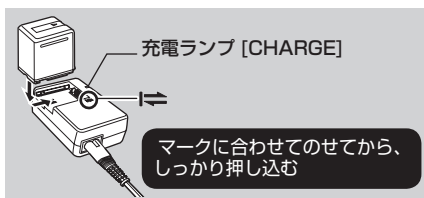
1 電源コードを AC アダプターにつなぐ。

DC コードは抜いておく
(DC コードがつながっているとバッテリーの
充電ができません)



「グッ」と奥まで差し込む

2 バッテリーを付ける。



■ 充電ランプ

- 点灯：充電中
- 消灯：充電完了
- 点滅：下記参照

■ 充電ランプが点滅した時は

バッテリーや AC アダプターの端子部にごみや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。

- ごみや異物、汚れが付着している場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後、取り除いてください。
- それでも充電ランプが点滅する場合は、バッテリーまたは AC アダプターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 充電時間と記録可能時間の目安

| バッテリー品番 | 電圧 / 容量 | 充電時間 | 連続記録可能時間 |
|----------------|-----------------------------------|---------|---|
| VW-VBG260 (付属) | 7.2 V / 2640/2500 (typ./min.) mAh | 約 170 分 | SDI 記録時 (SDI モード) 約 150 分 AG-HCK10G 接続記録時 (CAM モード) 約 70 分 |

- 上の表は常温(温度25℃ / 湿度60%)での時間です。高温、低温時は充電時間が長くなりますので、目安にしてください。
- 長時間使用していないバッテリーを充電する時は、充電時間が長くなる場合があります。
- 連続記録可能時間は、外部機器と接続せずにPHモード1080/60i (または、1080/50i)で記録した場合の目安です。
- 使用状況によって連続記録可能時間は変わりますので、目安にしてください。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。

■ バッテリー残量表示について

本機で使えるパナソニック製バッテリー使用時は、バッテリー残量が分単位で表示されます。

🔋 90 min

表示されるまでしばらく時間がかかります。

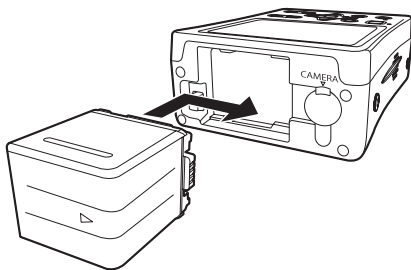
- バッテリーの残量が少なくなるに従って、🔋 → 🔋 → 🔋 → 🔋 → 🔋 と表示が変わります。3分以下になると🔋 が赤色になり、容量がなくなると、🔋 が点滅します。
- 低温、高温になるところや、長時間ご使用にならなかった場合は、バッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。バッテリー残量表示を正しく表示させるには、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。(この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります)
- 使用状況によってバッテリー残量表示の時間は変わりますので、目安にしてください。
- モードを切り替えたり、LCDバックライトの明るさを変更した時などは、バッテリー残量時間を再度計算するため時間表示が一度消えます。
- ACアダプター使用時は表示されません。

- バッテリーおよびレコーダー本体は、使用中や充電中には温度が高くなります。
- 記録と停止を繰り返すと、表に示した時間より、記録時間は短くなります。
- バッテリーが温かい時、充電時間は通常より長くなります。
- AC アダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。AC アダプターとラジオは1 m 以上離してお使いください。
- AC アダプターの使用中に、AC アダプターからノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。
- AC アダプターにDC コードを接続している時は、バッテリーの充電を行うことができません。

バッテリーを使う

取り付け

本機のバッテリー取り付け部にカチッという音がするまで入れる。

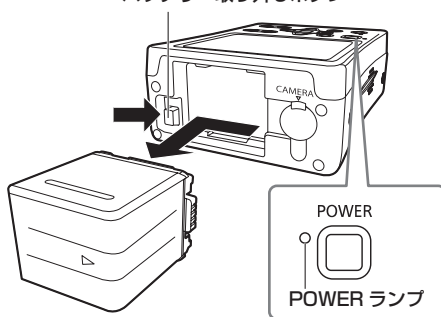


本機で使用できるパナソニック製バッテリーはVW-VBG260です。

取り外し

- 1 [POWER] ボタンを2秒以上押し続けて電源を切る。POWER ランプが消灯したことを確認する。
- 2 バッテリー取り外しボタンを押しながらバッテリーをボタン方向にスライドさせて取り外す。
 - バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。

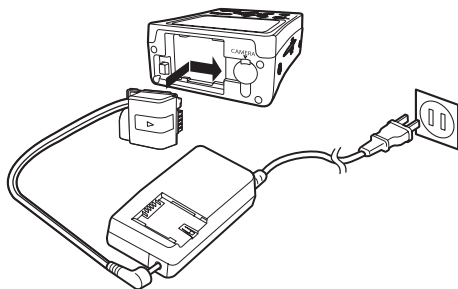
バッテリー取り外しボタン



AC アダプターを使う

取り付け

- 1 DC コードを AC アダプターに接続する。
- 2 AC コードをコンセントに接続する。
- 3 DC コードのプレートを、本機のバッテリー取り付け部にカチッという音がするまで入れる。



取り外し

- 1 [POWER] ボタンを2秒以上押し続けて電源を切る。POWER ランプが消灯したことを確認する。
- 2 バッテリー取り外しボタンを押しながら DC コードのプレートをボタン方向にスライドさせて取り外す。
- 3 AC コードをコンセントから抜く。

- AC アダプターにDC コードを接続している時は、バッテリーの充電を行うことができません。
- AC アダプターは全世界の電源電圧(100 V - 240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談の上、お求めください。(➔ PDF 103ページ)
- 本機を使用しない時は、AC コードをコンセントから外してください。

電源の入れかた・切りかた

[POWER] ボタンを2 秒以上押す。

- POWERランプ(緑)が点灯し電源が入ります。
- 電源が入った状態で[POWER] ボタンを2 秒以上押すと、POWERランプ が点滅し、電源が切れると消灯します。

また、本機が下記の状態の時は、POWER ランプが点滅します。

- 記録異常が発生した時
- カメラケーブルが外れた時
(カメラヘッド AG-HCK 10G (別売)接続時)

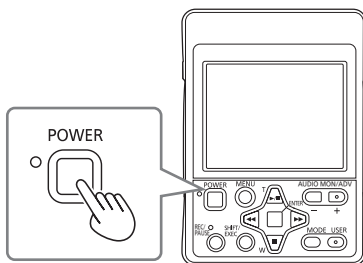
• 省電力モードについて

記録待機状態(SD メモリーカード挿入時)で約5 分間、特定の操作* がない場合、設定メニュー [OTHER FUNCTIONS]の[POWER SAVE]の設定によって次のようになります。

ON : 自動的に本機の電源が切れます。

OFF: 電源が切れません。

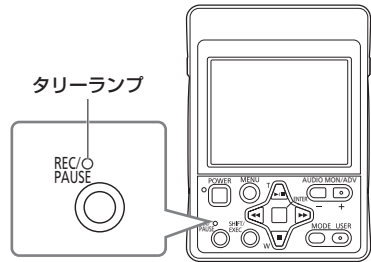
* 特定の操作については、設定メニュー [POWER SAVE] (➔ PDF 96ページ)をご覧ください。



タリーランプについて

記録中にタリーランプが点灯します（赤色）。
また、本機が下記の状態の時は、タリーランプが点滅します。

- （1秒間に4回）
- 記録異常が発生した時
- バッテリーの残量がなくなった時
- SDメモリーカードの記録残量がなくなった時
- システム周波数を変更した時
（1秒間に1回）
- バッテリーの残量が少なくなった時
- SDメモリーカードの記録残量が少なくなった時
- 設定メニューの初期化を行った時（➡ 21ページ）



■カメラヘッド AG-HCK10G（別売）接続時

以下の場合タリーランプが点滅します。

- （1秒間に4回）
- 冷却用のファンが正しく動作していない時
- カメラ内部の温度が異常に高くなった時
- 記録信号が乱れた時
- 手ぶれ補正機能が正しくはたらいしていない時
- フォーカス機能に異常がある時
- カメラケーブルが外れた時

備
料

SDメモリーカードアクセスランプについて

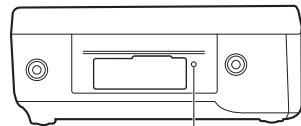
本機に挿入したSDメモリーカードのアクセス状態により、SDメモリーカードアクセスランプが以下のように点灯します。

■RECモード、PBモード

- オレンジ色点灯：読み込み、書き込み可能
- オレンジ色点滅（速）：認識中、不良カード判別時
- オレンジ色点滅（遅）：アクセス中
（記録中、再生中、読み込み中）
- 消灯：未挿入、未フォーマット
未対応カードの挿入

■PCモード

- オレンジ色点滅（遅）：アクセス中
- 消灯：アクセス中以外

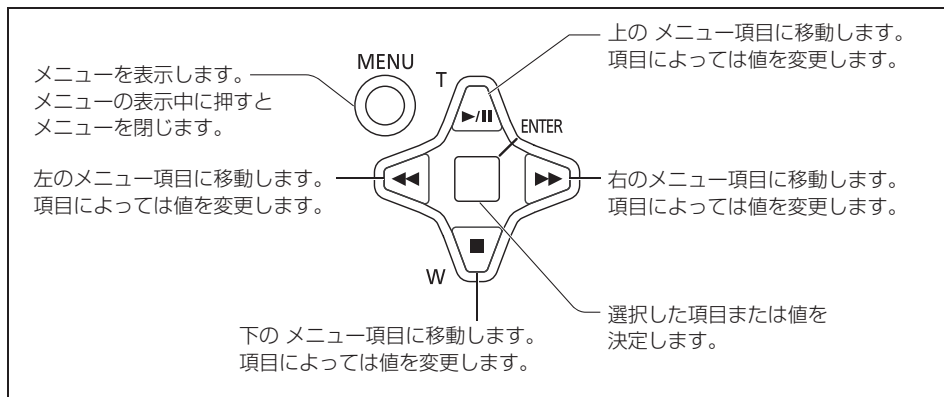


SDメモリーカードアクセスランプ

- SDメモリーカードアクセスランプが点滅中に下記の動作を行わないでください。
SDメモリーカードやSDメモリーカードの内容が破壊されたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
- SDメモリーカードを抜く
- 電源を切る
- バッテリーを取り外す
- USB接続ケーブルを抜き差しする
- 振動や衝撃を与える

設定メニューの基本操作

■ 設定メニューで使用するボタンのはたらき



設定メニューの操作方法

- グレー文字で表示されているメニュー項目は変更できません。

1 記録中や再生中以外の時に、[MENU] ボタンを押す。

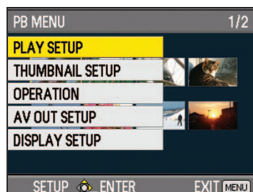
下記の機能画面が、液晶モニターに表示されず。

- プリレック設定時は、"Wait"と表示された後で機能画面が表示されます。

REC モード (例)



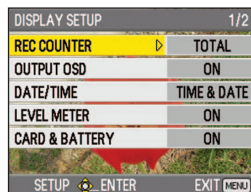
PB モード (例)



2 を押して、設定したい機能に黄色のカーソルを移動する。

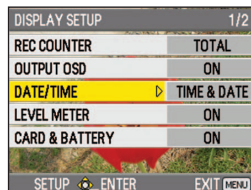
3 [ENTER] ボタンまたは を押して、設定項目を表示する。

例：



4 を押して、設定したい項目に移動する。

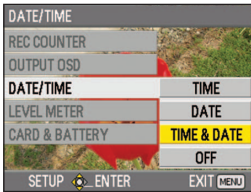
例：



5 [ENTER] ボタンまたは を押して、設定する。

  を押すと、数値などが変更できます。

例：



-  を押すと、1つ前のメニューに戻ります。

6 他の項目を変更する場合は、4～5を繰り返す。 設定を終了する場合は、[MENU] ボタンを押して、通常画面に戻ります。

7 他の機能を変更する場合は、2～5を繰り返す。 設定を終了する場合は、[MENU] ボタンを押して、通常画面に戻ります。

設定メニューを初期化する

RECモード時に以下の操作を行うと、設定メニューを工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 [MENU] ボタンを押す。

2 [OTHER FUNCTIONS] → [MENU INIT] → [YES] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

"TURN POWER OFF" が表示されたら、[POWER] ボタンを2秒以上押し続けて電源を切った後、再度電源を入れてください。現在の設定メニューが工場出荷時の状態に戻ります。

- 設定メニューの初期化を行っても、[TIME ZONE]の設定は工場出荷時の状態に戻りません。
- 設定メニューの初期化を行っても、メタデータは初期化されません。(メタデータの初期化 → PDF 93ページ)

日時の設定 / 内蔵電池の充電 / 液晶モニターの調整

本機で記録する前に、まず設定メニューで日時の設定や液晶モニターの調整を行います。

日時を設定する

設定メニュー[CLOCK SET]の値は、コンテンツ(クリップ)に記録され、サムネールによる再生順序に影響します。記録の前に、必ず[CLOCK SET]と[TIME ZONE]を確認し、設定してください。ここでは例として、2009年10月10日17時20分に設定する手順を説明します。

1 本機の[POWER]ボタンを2秒以上押して電源を入れる。

(→ 18 ページ)

2 [MENU] ボタンを押す。

設定メニューの基本操作 (→ 20 ページ)

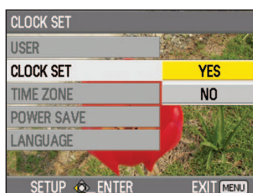
3 [OTHER FUNCTIONS] → [TIME ZONE] を選択し、[ENTER] ボタンまたは▶を押す。



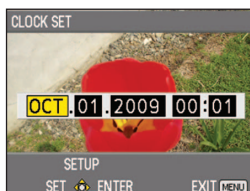
4 [ENTER] ボタンを2回押して設定画面を表示させ、◀▶を押してグリニッジ標準時間からの時差を設定し、[ENTER] ボタンを押す。日本で使う場合、「+09:00」(工場出荷モード)に設定します。(→ PDF 96 ページ)



5 ◀を押して[OTHER FUNCTIONS]設定メニューに戻り、[CLOCK SET] → [YES]を選択して[ENTER]ボタンを押す。

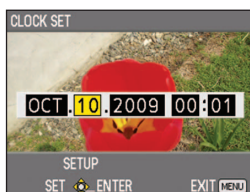


6 ◀▶を押して[OCT]を選択する。

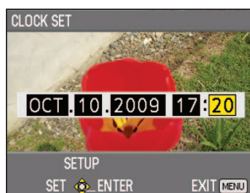


7 ▶を押してカーソルを次の項目に移動させ、

◀▶を押して[10]を選択する。

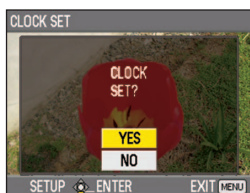


8 手順6、7と同様の方法で、残りの項目を設定する。



- 日付は2001年1月1日から2039年12月31日まで設定できます。
- 日付が2039年12月31日を超えた場合は、“----”が表示されます。
- 時刻は24時間表示です。

9 設定が終了したら[ENTER]ボタンを押し、確認の画面で[YES]を選択して[ENTER]ボタンを押す。



- 時刻には誤差が生じますので、記録前に時間が合っているか確認してください。
- 海外で使う場合、[CLOCK SET]の時間を現地時間に設定するのではなく、[TIME ZONE]でグリニッジ標準時間からの時差を入力してください。(→ PDF 96ページ)

内蔵電池の充電

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。日時設定しても、“LOW INTERNAL BATTERY” (内蔵電池の残量がありません)が表示される時は、内蔵電池が消耗しています。以下の方法で充電してください。

充電完了後、日時を設定してください。

- 1 本機に AC アダプターを接続する。
(→ 18 ページ)
 - 本機の電源は切ったままにします。

2 約 4 時間、そのままの状態にしておく。

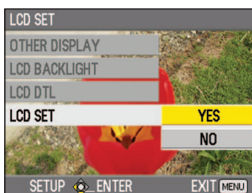
- 内蔵電池が充電されます。
- 充電を行った後は、タイムコードやメニューを確認してください。

充電後も年月日、時刻が記憶されない場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

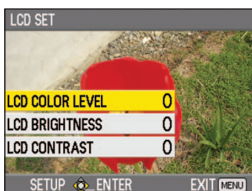
備
料

液晶モニターを調整する

- 1 本機の [POWER] ボタンを 2 秒以上押して電源を入れる。(→ 18 ページ)
- 2 [MENU] ボタンを押す。
設定メニューの基本操作 (→ 20 ページ)
- 3 [DISPLAY SETUP] → [LCD SET] → [YES] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。



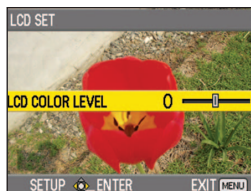
- 4 を押して項目を選択し、[ENTER] ボタンを押す。



LCD COLOR LEVEL: 画面の色濃度を調整します。
LCD BRIGHTNESS: 画面の明るさを調整します。
LCD CONTRAST: 画面のコントラストを調整します。

- すべての液晶モニター調整値を最小にすると、画面が見えにくくなりますので、ご注意ください。

- 5 を押して項目の値を設定し、[ENTER] ボタンを押す。

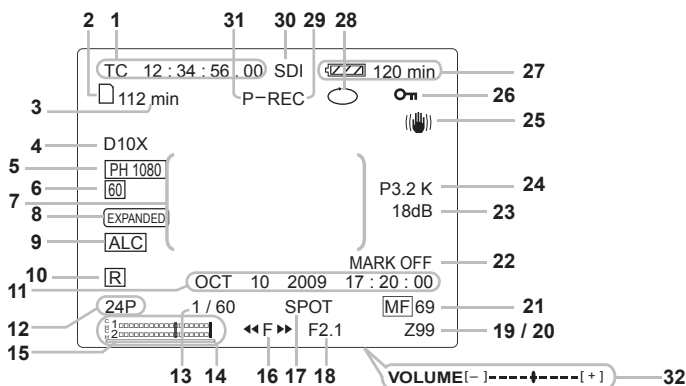


- 6 [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

画面の表示

通常の表示

セーフティゾーンについては 33 (→ 28 ページ) を参照してください。



1 タイムコード表示 (→ PDF 42 ページ)

COUNTER 機能を割り当てた [USER] ボタンを押すごとに、下記のデータ (または表示なし) に切り替わります。

- 外部機器には出力されません。
- 0 : 00 . 00 / CLIP 0 : 00 . 00

カウンター値

設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [REC COUNTER] → [TOTAL] / [CLIP] の選択で、カウンター表示を切り替えます。

- 0 : 00 . 00 ([TOTAL] 選択時) : 継続的に記録時間をカウント (表示) します。
 - CLIP 0 : 00 . 00 ([CLIP] 選択時) : クリップごとの記録時間をカウント (表示) します。
- PB モードのカウンター表示は、自動的に CLIP になり、クリップ単位の再生 (記録) 時間をカウント (表示) します。

TC 12 : 34 : 56 . 01

タイムコード

- タイムコードが SD メモリーカードから正しく読みとれなかった時には、[TC *] を表示します。

UB 12 34 56 78

ユーザーズビット

- ユーザーズビットが SD メモリーカードから正しく読みとれなかった時には、[UB *] を表示します。

2 メディア情報表示

挿入されている SD メモリーカードの基本情報を表示します。

- : 記録可能なカード

- : ライトプロテクトがかかっている
- ☒ : 記録不可能なカード
- : カードの容量がいっぱい
 - 表示がされていても記録できる場合があります。
 - SD メモリーカードの容量や種類によっては、記録中にカードの容量がいっぱいになり記録が停止しても、表示されない場合があります。
- : 再生専用カード
1000 以上のクリップが記録された SD メモリーカードは再生専用になります。
- ▶ : カードアクセス中
- : カード未挿入

3 メディア残量表示

設定メニュー [RECORDING SETUP] の [REC FORMAT] で設定された記録フレームレートでの残量を表示します。

PB モード時には表示しません。

- 表示される時間は目安です。
- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [CARD & BATTERY] → [ON] / [OFF] の選択で、表示 / 非表示を切り替えることができます。

リピートレックを ON に設定時は、次の表示になります。

🔴 4 :

- リピートレックを行うのに十分な残量があります。
- リピートレック時に繰り返し記録する最大のクリップ数は4です。

例) 16GBのSDメモリーカードを本機でフォーマットすると、🔴 4 の表示になります。

🔴 8 :

- リピートレックを行うのに十分な残量があります。
- リピートレック時に繰り返し記録する最大のクリップ数は8です。

例) 32GBのSDメモリーカードを本機でフォーマットすると、🔴 8 の表示になります。

LACK :

- 残量が不足しています。リピートレックを開始することはできません。
- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [CARD&BATTERY] → [OFF]に設定している場合でもLACK表示を行います。
- SDメモリーカードの状態によっては、本機でのフォーマット直後でも十分な残量を確保できず、LACK表示になることがあります。

4 デジタルズーム倍率表示 (CAM モード時)

デジタルズーム倍率を表示します。(→ PDF 87 ページ)

D2X: 2 倍

D5X: 5 倍

D10X: 10 倍

5 記録フォーマット表示 (→ PDF 88 ページ)

クリップの記録時の設定フォーマットを表示します。

- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [OTHER DISPLAY] → [ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

6 システム周波数表示 (→ PDF 96 ページ)

60 : 59.94 Hz

50 : 50 Hz

- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [OTHER DISPLAY] → [ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

7 情報表示

下記の情報を表示します。

- オートホワイトバランスやオートブラックバランスの動作状態を表示します。(CAMモード時 → PDF 44 ページ)
- 警告表示(→ PDF 79ページ)
- AWBエラーメッセージ(AWB NG)を表示します。(CAMモード時)

8 FOCUS ASSIST 表示 (CAM モード時)

FOCUS ASSIST 使用時に表示します。

(→ PDF 45 ページ)

- 外部機器には出力されません。

9 マイクレベル自動制御表示

設定メニュー [RECORDING SETUP] →

[MIC ALC] → [ON]に設定中に、表示します。

• 設定メニュー [DISPLAY SETUP] →

[OTHER DISPLAY] → [ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

10 タイムスタンプ表示 (→ PDF 46 ページ)

11 日付と時刻表示

月:

JAN (1 月)、FEB (2 月)、MAR (3 月)、
APR (4 月)、MAY (5 月)、JUN (6 月)、
JUL (7 月)、AUG (8 月)、SEP (9 月)、
OCT (10 月)、NOV (11 月)、DEC (12 月)

日

年: 2001...2039

時

分

秒

mmm dd yyyy hh:mm:ss

12 フレームレート表示

記録フレームレートを表示します。

1080/60i (または、1080/50i) の時は、表示しません。

- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [OTHER DISPLAY] → [ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

13 シャッタースピード表示 (CAM モード時)

シャッタースピードを表示します。

• 設定メニュー [DISPLAY SETUP] →

[OTHER DISPLAY] → [ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

14 オーディオレベルメーター表示

記録もしくは記録待機時は入力レベル、再生時は再生している音声レベルを表示します。

- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [LEVEL METER] → [ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。
- 外部機器には出力されません。

(次ページへつづく)

15 フォーカスバー表示

設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [FOCUS BAR] → [ON] を選択時に表示します。

- フォーカスが合うとバーが右方向に伸びます。

16 CAMERA FUNCTIONS 表示

(CAM モード時 → PDF 51 ページ)

[ENTER] ボタンを押して選択したカメラ撮影機能を表示します。

- ◀◀ F ▶▶ : ピントの調整
- ◀◀ I ▶▶ : 絞り・明るさの調整
- ◀◀ S ▶▶ : シャッタースピードの調整
- ◀◀ W ▶▶ : ホワイトバランスの設定

17 オートアイリス制御表示 (CAM モード時)

STD: 標準オートアイリス制御

SPOT: スポットライト用のオートアイリス制御
(→ PDF 40 ページ)

BACK: 逆光補正用のオートアイリス制御
(→ PDF 40 ページ)

- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [OTHER DISPLAY] → [ON]/[OFF] の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

18 アイリス表示 (CAM モード時 → PDF 51 ページ)

F 値を表示します。

- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [OTHER DISPLAY] → [ON]/[OFF] の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

19 ズームポジション表示

(CAM モード時 → PDF 49 ページ)

Z00 (広角最大) ~ Z99 (望遠最大) でズームポジションを表示します。

- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [ZOOM & FOCUS] → [ON]/[OFF] の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

20 SDI スルー出力表示 (SDI モード時 → PDF 91 ページ)

設定メニュー [AV OUT SETUP] → [SDI EE SEL] → [THROUGH] を選択すると、“THROUGH” が表示されます。

- 外部機器には出力されません。

21 フォーカス制御情報表示 (CAM モード時 → PDF 51、87 ページ)

99 ~ 00 でフォーカス制御情報を表示します。

オートフォーカスの時は **AF**、マニュアルフォーカスの時は **MF** と表示されます。マクロ制御機能がはたらいている時は、**AF** または **MF** が白黒反転表示になります。

95 (焦点距離: 無限大)

:

00 (焦点距離: 約 5 cm)

- ズームポジションにより、マクロ範囲にならないことがあります。また、ズームポジションにより、マクロ範囲の下限値が異なることがあります。
- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [ZOOM & FOCUS] → [ON]/[OFF] の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

22 インデックス / ショットマーク記録表示 (→ PDF 41 ページ)

MARK ON: ショットマークを付加すると表示します。

MARK OFF: ショットマークを解除すると表示します。

INDEX: インデックスを付加すると表示します。

- 付加できない場合は、“INVALID” を表示します。

23 ゲイン表示 (CAM モード時)

現在のゲイン値を表示します。

- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [OTHER DISPLAY] → [ON]/[OFF] の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

24 AWB 情報表示

(CAM モード時 → PDF 40、54 ページ)

ホワイトバランスの情報を表示します。

ATW: ATW 設定時

P3.2K/P5.6K: プリセット使用時

W.SET: ホワイトバランス調整可能時

LOCK: ATW ロック時

- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [OTHER DISPLAY] → [ON]/[OFF] の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

25 手ぶれ補正表示 (CAM モード時 → PDF 50 ページ)

手ぶれ補正機能が [ON] の時に表示します。

- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [OTHER DISPLAY] → [ON]/[OFF] の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。




26 KEY LOCK 表示 (→ PDF 45 ページ)

操作ボタンの動作を無効に設定した時に表示します。

- REMOTEジャックにリモコン(別売)を接続している場合は、リモコンでの記録およびズーム操作がロック中でも有効です。

27 バッテリー残量表示

本機で使えるパナソニック製バッテリー使用時は、バッテリー残量が分単位で表示されます。表示されるまでしばらく時間がかかります。

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、と表示が変わります。3分以下になるとが赤色になり、容量がなくなると、が点滅します。
- 低温、高温になるところや、長時間で使用しなかった場合は、バッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。バッテリー残量を正しく表示させるには、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。(この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります)
- 使用状況によってバッテリー残量表示の時間は変わりますので、目安にしてください。
- モードを切り替えたり、LCDの明るさを変更したときなどは、バッテリー残量時間を再度計算するため時間表示が一度消えます。
- ACアダプター使用時は表示されません。
- 設定メニュー[DISPLAY SETUP]→[CARD & BATTERY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

28 リピート再生表示 (PB モード時 → PDF 62 ページ)

設定メニュー [PLAY SETUP] → [REPEAT PLAY] → [ON] を選択した時に、表示されます。

29 動作状態表示

REC モード時

- REC: 記録
PAUSE (緑) : 記録待機
PAUSE (赤) : 記録一時停止

リピートレック時

- 約90分間の記録完了後、次のクリップの記録を開始するまで表示します。

リピートレック時以外(SDI モード時のみ)

- 記録中に入力信号に異常が発生した場合に表示します。
- 入力信号が正常に戻ると、記録を再開します。
- [REC/PAUSE]ボタンを押すと、緑の表示に変わります。

CHK: REC CHECK 中

PB モード時

- ▷: 再生
⏏: 再生一時停止
INDEX [⏏]: インデックス付加位置での再生一時停止
⏏▷ (<⏏): コマ送り再生 (逆方向コマ送り再生)
▷▷ (<<▷): クリップ送り(クリップ戻し)
▷▷ (<<▷): 早送り再生 (約 5 倍速 *) (早戻し再生 (約 5 倍速 *))
* [PB FORMAT] を 720/24P に設定している時は約 6 倍速になります。
▷▷▷ (<<<▷): 早送り再生 (約 15 倍速 *) (早戻し再生 (約 15 倍速 *))
* [PB FORMAT] を 720/24P に設定している時は約 20 倍速になります。
▷ (<▷): 最終シーンでの一時停止 (先頭シーンでの一時停止)

30 入力信号表示

SDI: SDI モード時に表示します。

- 入力信号と記録フォーマットが異なる場合など、記録できない状態の時は、表示が点滅します。

CAM: CAM モード時に表示します。

- 故障やケーブル断線など、カメラヘッドに異常がある時は表示が点滅します。

INT: 設定メニュー [RECORDING SETUP] → [INT SG] → [ON] を選択時に表示します。(→ PDF 89 ページ)

- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [OTHER DISPLAY] → [ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

31 記録機能表示

P-: プリレック設定時に表示します。(CAM モード時 → PDF 50 ページ)

A-: 設定メニュー [RECORDING SETUP] の [AUTO REC] を [OFF] 以外に設定した時に表示します。(SDI モード時 → PDF 88 ページ)

R-: リピートレック設定時に表示します。(CAM/SDI モード時 → PDF 47 ページ)

32 オーディオ出力調整レベル表示 (→ PDF 69 ページ) / マイク入力調整レベル表示 (→ PDF 46 ページ)

[AUDIO MON/ADV] ボタンを押すと、内蔵スピーカーとヘッドホンジャックから出力される音量が表示されます。

入力音声レベル調整時には、“VOLUME” のかわりに “I.MIC” / “E.MIC” が表示されます。

33 セーフティゾーン

[DISPLAY SETUP] の [SAFETY ZONE] (→ PDF 92 ページ) の設定により、範囲を表示します。

[4:3] を選択時： 4:3 に切り出した位置を表示します。



[90%] を選択時：一般的な家庭用テレビで表示できる範囲 (90 %) を表示します。



- CAMモードのフォーカスアシスト機能を使用することにより“EXPANDED”が表示されている場合は、セーフティゾーンは液晶モニター画面に表示されません。
(フォーカスアシスト機能 → PDF 45 ページ)

主な警告表示

液晶モニター画面に表示される、主な警告表示を記載しています。その他の警告表示については、表示時に確認してください。

■ C

CANNOT BE USED DUE TO INCOMPATIBLE DATA.

- データの規格が異なるため使えません。
- SD メモリーカードのフォーマットが [SYSTEM FREQ] の設定と合っていません。

CANNOT DELETE.

削除できません。

CANNOT DELETE WITH THIS BUTTON

削除することができません。

CANNOT OPERATE. FAN MOTOR IS STOP. PLEASE TURN OFF.

- カメラヘッドの冷却ファンに異常が検出された場合に表示されます。

CANNOT OPERATE. TEMPERATURE IS HIGH. PLEASE TURN OFF AND WAIT A WHILE.

- カメラヘッドに高温異常が検出された場合に表示されます

CANNOT PLAY.

再生できません。

CANNOT PLAY WITH THIS BUTTON

再生することができません。

CANNOT RECORD PH MODE AND HA MODE INTO THIS CARD.

本カードには、PH モード HA モードで記録できません。

CANNOT RECORD. THE NUMBER OF CLIPS HAS EXCEEDED THE MAXIMUM LIMIT.

クリップ数がいっぱいまで記録できません。

CANNOT SET THE NUMBER OF INDEXES HAS EXCEEDED THE MAXIMUM LIMIT.

インデックス数が上限をこえるためセットできません。

CANNOT SET PRE-REC. CARD CAPACITY TOO LOW.

カード残量が少ないため PRE-REC は設定できません。

CANNOT START REPEAT REC

リピートレックを開始できません。

CARD DOOR OPENED.

カードのふたが開いています。

CARD ERROR. PLEASE REFORMAT.

フォーマット失敗しました。このカードは再フォーマットが必要です。

CARD FULL.

カード残量がありません。

CHECK CARD.

カードを確認してください。

CHECK USB CABLE.

PC を接続してください。

CONTROL DATA ERROR HAS BEEN DETECTED.

管理情報にエラーを検出しました。

■ D

DISCONNECT USB CABLE.

モード切換時は USB ケーブルを抜いてください。

■ I

INCOMPATIBLE CARD. PLEASE CHECK CARD.

このカードは記録停止するおそれがあります。カードを確認してください。

INVALID KEY INPUT

- KEY LOCK を使用中に、ボタン操作を行うと表示されます。(➡ PDF 45 ページ)

■ N

NO CARD

カードが入っていません。

NOW ACCESSING.

PLEASE DO NOT REMOVE CARD.

カードにアクセス中です。カードを抜かないでください。

■ R

REC STOPPED.

NOW WRITING.

ビデオ記録が停止しました。カードに書き込み中です。

REPAIR CLIP?

クリップを修復しますか？

REC WARNING

IRREGULAR FRM SIG.

- SDI 入力記録時に、本機への入力信号に異常が検出された場合に表示されます。入力信号が正常に戻ると記録を再開します。REC/PAUSE ボタンを押すことで、記録再開(ワーニング表示)を解除できます。

画面の表示 (つづき)

REPEAT REC COMPLETED

リピートレックを停止しました。

REPEAT REC STOPPED

INPUT ERROR

TURN POWER OFF

リピートレックを停止しました。

入力エラーのため電源を切ってください。

S

SD CARD FORMAT?

YES NO

SD カードをフォーマットしますか？

する しない

SDI INPUT ERROR.

(OTHER FORMAT)

・SDI入力信号のフォーマットが、本機の記録フォーマットと異なる場合に表示されます。

SET DATE AND TIME

時計を設定してください。

T

THE CLIP IS PROTECTED.

PLEASE CANCEL PROTECTION.

クリップがプロテクトされています。プロテクトを解除してください。

THE RECORDING IS STOPPED

(OVER THE LIMITATION)

記録を停止します。(12 時間連続録画)

THE TC MODE IS CHANGED TO "NDF"

TC モードは NDF となります。

([SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時に表示されます)

THIS BATTERY CANNOT BE USED.

このバッテリーは使えません。

THIS CARD CANNOT RECORD IN VIDEO MODE.

このカードはビデオ記録できません。

THUMBNAIL DATA ERROR IS

DETECTED.

サムネール情報にエラーを検出しました。

U

UNABLE TO FORMAT.

フォーマットできません。

W

WRITE PROTECT

ライトプロテクトされています。

エラー表示

本機や SD メモリーカードなどに異常が発生した場合に表示します。一度電源を切っても直らない場合は、表示の内容に従ってカードを交換するか、もしくはお買い上げの販売店へご相談ください。

C

CANNOT RECORD

記録時に異常が生じた時に表示します。

R

REC WARNING

記録時に異常が生じた時に表示します。再度記録してください。それでも警告が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

・警告が続く場合は電源を切ってください。

再度記録しても警告が出る場合は、別の SD メモリーカードに取り替えてください。

S

SYSTEM ERROR

TURN POWER OFF

システムに異常が発生した時に表示します。電源を入れ直してください。

・クリップを削除した時など、SD メモリーカードへのアクセス中に表示された場合は、SD メモリーカードが壊れている可能性があります。新しいカードに交換してください。

・修復時に表示された場合は、コンテンツ修復ソフト AVCCAM Restorer (リストアラー) をお使いください。(➔ PDF 33 ページ)

・カメラヘッド AG-HCK10G 接続時は、電源が入った状態でカメラケーブルを取り外すと表示されます。カメラケーブルは、電源を切ってから取り外してください。

■カメラヘッド接続時

カメラヘッド AG-HCK10G (別売) を接続して撮影している時に、異常が発生すると表示します。電源を入れ直してください。

FOCUS NG

TURN POWER OFF (フォーカス動作異常)

PSD NG

TURN POWER OFF (手ぶれ検出異常)

ZOOM NG

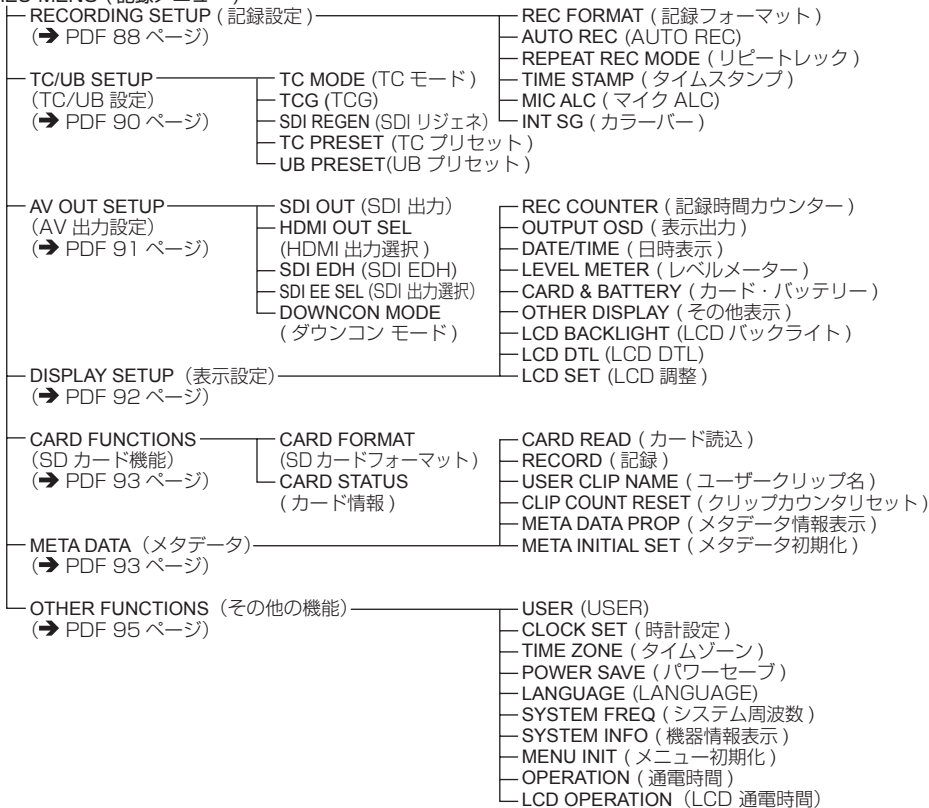
TURN POWER OFF (ズームモータの異常)

設定メニューの構成

記録 (REC) モードのメニュー

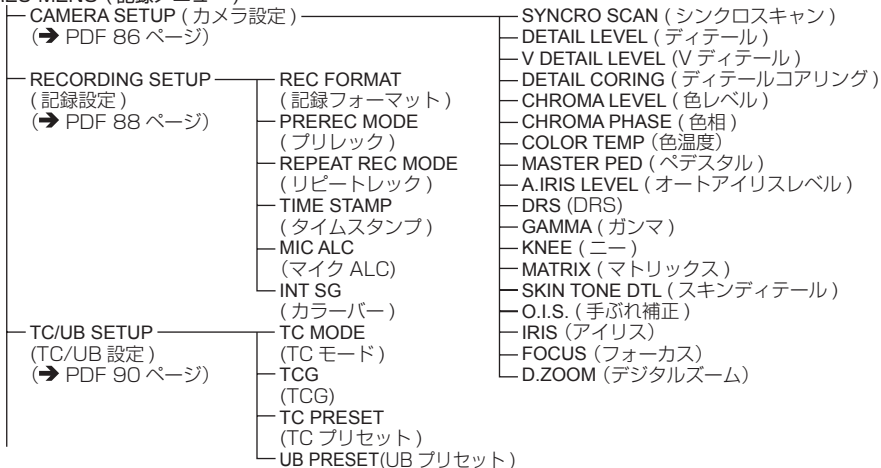
< SDI モード > (SDI 入力時)

REC MENU (記録メニュー)



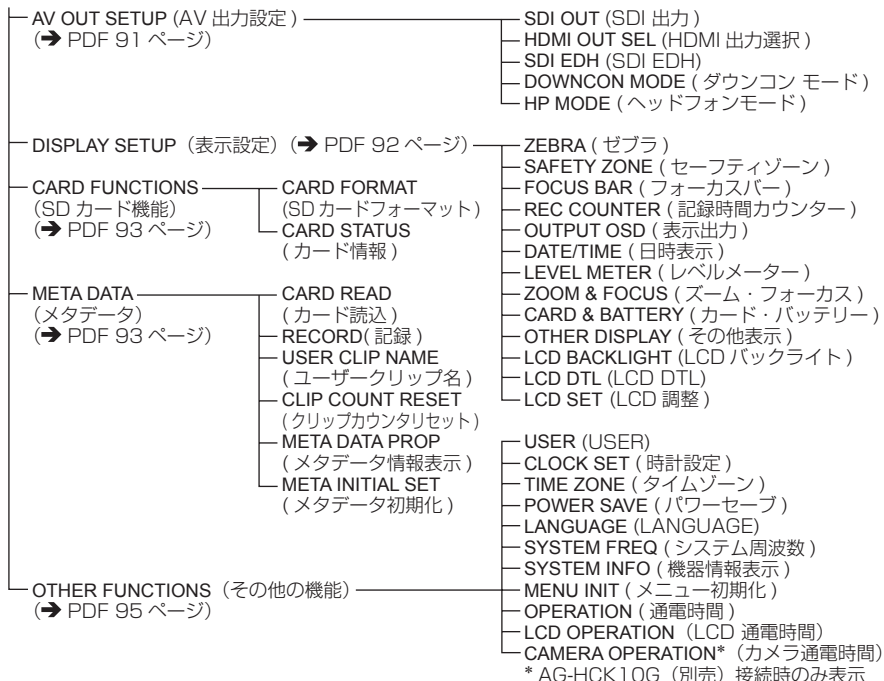
< CAM モード > (カメラヘッド AG-HCK10G (別売) 接続時)

REC MENU (記録メニュー)

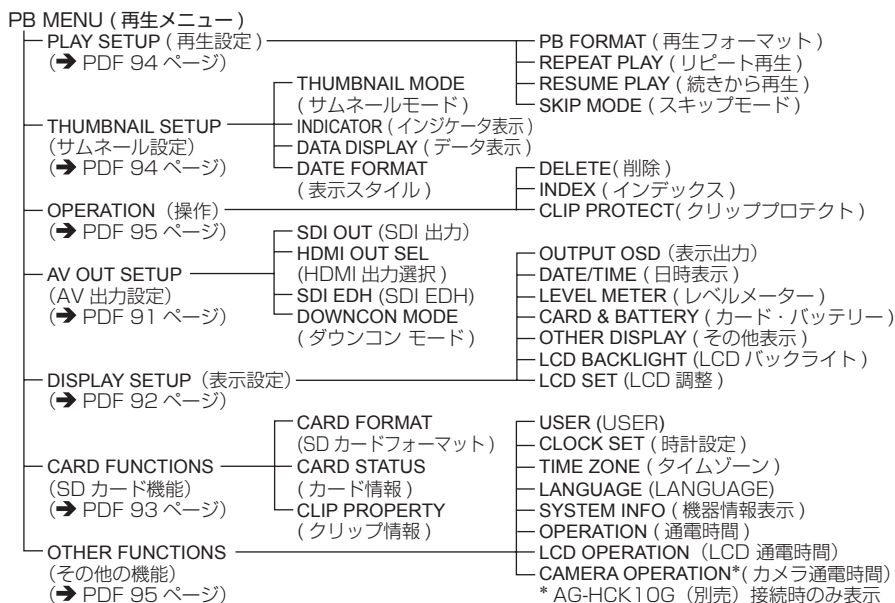


設定メニューの構成 (つづき)

記録 (REC) モードのメニュー (つづき)



再生 (PB) モードのメニュー



保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

本機は 3 年間無償修理特約の対象商品です。
お客様が本機を購入後 1 カ月以内にウェブサイトからユーザー登録を行うと、最大 3 年間の無償修理特約が提供されます。より詳しい情報については、下記ウェブサイトをご覧ください。
日本語： http://panasonic.biz/sav/pass_j/
英語： http://panasonic.biz/sav/pass_e/

■補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このメモリーカードポータブルレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

| | |
|--------|-------------------|
| 品名 | メモリーカードポータブルレコーダー |
| 品番 | AG-HMR10 |
| 製造番号 | |
| お買い上げ日 | |
| 故障の状況 | |

定格

【総合定格】

電源電圧 DC7.2 V (バッテリー使用時)/
DC7.3 V (AC アダプター使用時)

消費電力

単体使用時：6.5 W
専用オプションカメラヘッド (AG-HCK10G)
接続時：11.7 W

は安全項目です。

許容動作温度

0℃～40℃

許容動作湿度

10%～80% (結露なし)

質量

本体 約 580 g (バッテリーを除く)
約 691 g
(同梱バッテリー (2640mAh) 取り付け時)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

96.0 mm × 52.6 mm × 133.0 mm
(セツト脚、キャップなどの突起部を除く)

【ビデオ記録再生部】

記録規格

AVCHD 規格準拠

圧縮方式

MPEG-4 AVC/H.264

記録メディア

SD メモリーカード：
512 MB、1 GB、2 GB まで
(FAT12、FAT16 形式に対応)
SDHC メモリーカード：
4 GB、6 GB、8 GB、12 GB、16 GB、
32 GB まで (FAT32 形式に対応)
メタデータの読み込みには、8 MB～32 GB
の SD/SDHC メモリーカードが使用できます。

記録フォーマット (記録モード&解像度)

■ [SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時

PH モード：
1080/60i
1080/30P (over 60i) *
1080/24P (ネイティブ記録) *
720/60P
720/30P (over 60P) *
720/24P (ネイティブ記録) *

HA モード：
1080/60i

HG モード：
1080/60i

HE モード：
1080/60i

* 専用オプションカメラヘッド AG-HCK10G
接続時のみ

■ [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時

PH モード：
1080/50i
1080/25P (over 50i) *
720/50P
720/25P (over 50P) *

HA モード：
1080/50i

HG モード：
1080/50i

HE モード：
1080/50i

* 専用オプションカメラヘッド AG-HCK10G
接続時のみ

転送レート

PH モード：約 21 Mbps (VBR)
HA モード：約 17 Mbps (VBR)
HG モード：約 13 Mbps (VBR)
HE モード：約 6 Mbps (VBR)

記録時間 (目安)

約 180 分 (PH モード 1920 × 1080 画素、
32GB SDHC メモリーカード 1 枚使用時)

SD メモリーカード

1 枚の最大連続記録数：900 クリップ
(フォーマットしてから記録、SD メモリーカー
ド抜き差ししない条件)
1 枚の再生可能クリップ数：1000 クリップ
(1000 クリップまで表示)

サムネール表示

8 画面 / ページ

編集機能

削除、プロテクト

フォーマット機能

有り

連続撮影時間 (目安)

[単体使用時] 約 150 分 *
(同梱バッテリー (2640 mAh) 使用時)
[AG-HCK10G 接続時] 約 70 分 *
(同梱バッテリー (2640 mAh) 使用時)
* PH モード 1080/60i(1080/50i) 記録時
の目安時間です

【映像方式】

ビデオ信号

- [SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時
1080/60i、720/60p
- [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時
1080/50i、720/50p

【映像入出力】

SDI 端子

HD SDI 入力、HD SDI/SD SDI 出力
BNC × 1 0.8 V [P-P] 75Ω

HDMI 端子

- HDMI 出力 × 1 (HDMI TypeA 端子)
- [SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時
1080/60i、720/60p、480/60p
 - [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時
1080/50i、720/50p、576/50p
(ビエラリンク非対応)

カメラ接続端子

20pin 専用インターフェイス
(AG-HCK 10G と接続)

【オーディオ定格】

圧縮方式

記録/再生 : Dolby Digital/2 ch

サンプリング周波数

48 kHz

量子化

16 bit

圧縮後のビットレート

PHモード : 2 CH 384 kbps
HA/HG/HEモード : 2 CH 256 kbps

【オーディオ入出力】

HDMI

2 ch (リニア PCM)、5.1ch (Dolby Digital)

【モニター・マイク・スピーカー】

外部マイク入力

- 70 dBV(マイク感度 - 50 dB 相当
0 dB=1 V/Pa 1 kHz)
- ステレオミニジャック 3.5 mm 径
- プラグインパワーマイク非対応

ヘッドホン

ステレオミニジャック (3.5 mm 径) × 1、
100 Ω - 22 dBV (32 Ω 負荷時)

内蔵スピーカー

20 mm 径 丸形 × 1

LCD モニター

3.5 インチ、液晶カラーモニター (約 21 万画素)

【その他入出力端子】

USB 端子

Type mini B コネクター (USB 2.0 準拠)

カメラリモート端子

スーパーミニジャック (2.5 mm 径)
(ZOOM S/S)

【充電機能付き AC アダプター】

| | |
|------|---|
| 定格入力 | 100 V ~ 240 V AC、 50 Hz/60 Hz 32 VA (AC100 V 時) / 44 VA (AC240 V 時) |
| 定格出力 | 7.3 V DC、1.75 A (ビデオカメラ) 8.4 V DC、1.3 A (充電時) |

は安全項目です。

質量

140 g

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

103 mm × 36 mm × 62 mm

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2009

